

### 第3回常磐公園自然環境調査ワークショップ議事録

第3回ワークショップの概要は表1に示すとおりであり、主な議事を表2に示した。

第3回ワークショップでの議題は冬季調査結果と総括（中間）の確認であり、主な指摘事項は以下のとおりであった。

- ・重要種でも植栽種であったり公園の環境への依存度が低い種については評価の対象外として良い。評価対象としては、公園で繁殖している種がもっとも重要で、次いで渡りの立ち寄り拠点としているような種が挙げられる。また、外来種については防除の視点で重要である。
- ・植物のリストの備考には植栽由来であることを明記しておくが良い。
- ・評価にあたっては調査の目的にある①生態系の特性、②公園の構造と生息する鳥類、③みどりのネットワークの視点を入れておくが良い。
- ・一般市民向けにわかりやすい情報発信を行うと良い。
- ・今後の調査の絞り込みについては、今後の公園管理に反映できる内容を考慮して考えると良い。
- ・今後の調査では、アズマヒキガエル（国内移入種）、ツチガエル（国内移入種）、ウチダザリガニ（国外移入種）に留意しておくこと。

表1 常磐公園自然環境調査第3回ワークショップの概要

日時:平成29年3月6日(月) 17:50~18:50

場所:旭川市第3庁舎土木部第4会議室

出席者:

◆有識者

塩田 惇(あさひかわ自然共生ネットワーク)、出羽 寛(あさひかわ自然共生ネットワーク)、  
寺島 一男(あさひかわ自然共生ネットワーク)、南 尚貴(元旭川市博物科学館館長)

◆業務受託者

渡辺 誠(管理技術者)、永渕 正夫(担当者)

◆事務局

高橋 正樹(土木部公園みどり課)、大窪 俊英(土木部公園みどり課)

配付資料:

- ・常磐公園自然環境調査第3回ワークショップ資料(自然環境調査:総括報告(中間))

表2 常磐公園自然環境調査第3回ワークショップにおける主な議事

●常磐公園自然環境調査の冬季調査結果・総括(中間)説明

受託者の株式会社日水コンより冬季調査結果・総括(中間)の説明を行い、有識者、事務局と意見交換を行った。議事概要は以下に示すとおりであり、項目別に以下に示した。

(1)冬季調査

(特に意見無し)

(2)総括(中間)

- ・重要種でも植栽種であったり公園の環境への依存度が低い種については評価の対象外として良い。評価対象としては、公園で繁殖している種がもっとも重要で、次いで渡りの立ち寄り拠点としているような種が挙げられる。また、外来種については防除の視点で重要である。  
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・同様の観点で、植物のリストの備考には植栽由来であることなどを明記しておくが良い(有識者)。  
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・評価にあたっては調査の目的にある①生態系の特性、②公園の構造と生息する鳥類、③みどりのネットワークの視点を入れておくが良い(有識者)。  
⇒ 了解しました(受託者)。
- ・この資料のとりまとめはこれで良いが、一般市民向けにわかりやすい情報発信を行うと良い(有識者)。  
⇒ ホームページやパンフレットの改訂などで対応したいと考えています(事務局)。

(3)春季・夏季調査について

- ・当初予定通りで実施するのか(有識者)。  
⇒ 予算の制限があるため、絞り込んで実施することを想定している(事務局)。  
⇒ 了解である。ブッシュの設置など、今後の公園管理に反映できる内容を考慮して考えると良い(有識者)。
- ・新たな侵入が懸念される外来種として、アズマヒキガエル(国内移入種)、ツチガエル(国内移入種)、ウチダザリガニ(国外移入種)に留意しておくこと(有識者)。  
⇒ 了解しました(事務局)。